東御陵池ため池ハザードマップ作成に係るご意見の要旨と岬町の考え方

設問	ご意見の要旨	岬町の考え方
○説明資料はわかりましたか。		
	わかった。	100%
	わからなかった。	0%
○自宅が浸水するかどうかわかりましたか。		
	わかった。	100%
	わからなかった。	0%
○土砂災害警戒区域がどこにあるかわかりましたか。		
	わかった。	90%
	わからなかった。	10%
○事由質疑等		
1	近年の災害では、想定外の事案が多く安心できないと実感しています。このように注意喚起の機会があると防災意識が高まります。	今後も地域との防災情報の共有に努めてまいります。
2	東御陵池と住宅地は高低差が大きいが浸水するのでしょうか。	東御陵池よりも低い場所に位置する住宅地は、浸水する可能性があります。また、浸水しても海や雨水管等により排水されるため、浸水深が0.5m未満であっても、足元をすくわれ転倒するおそれがあるため、無理に避難せず、自宅の2階や高いところで水が引くのを待つ、という手段も有効です。
3	大雨時に水路からあふれそうになる箇所があり、危険な状態だと感じている。	今回のハザードマップは、ため池の決壊時の情報を提示することにより、日頃からの避難経路の検討等に活用いただくために住民の方々に配布するものであるため、水路管理等については割愛させていただいております。水路管理等に関するご意見につきましては、改めまして岬町までご相談いただけますと幸いです。

4	道路等における陥没が頻発しているため、根本的な対策が必要に思う。道路管理者もわかっているところでは。	今回のハザードマップは、ため池の決壊時の情報を提示することにより、日頃からの避難経路の検討等に活用いただくために住民の方々に配布するものであるため、道路管理等については割愛させていただいております。道路管理等に関するご意見につきましては、改めまして岬町までご相談いただけますと幸いです。
5	九捜川の氾濫に備えて、川底の障害物の撤去をお願いします。	今回のハザードマップは、ため池の決壊時の情報を提示することにより、日頃からの避難経路の検討等に活用いただくために住民の方々に配布するものであるため、河川管理等については割愛させていただいております。河川管理等に関するご意見につきましては、改めまして岬町までご相談いただけますと幸いです。
6	東御陵池が決壊すると、自宅からの道が１つしかないので逃げ場が無く、台風後は川の流れも速く怖いと感じる。	災害の危険がある場合は、早めの避難をお願いいたします。浸水深が0.5m未満であっても、足元をすくわれ転倒するおそれがあるため、無理に避難せず、自宅の2階や高いところで水が引くのを待つ、という手段も有効です。
7	浸水深マップの色彩、配色がわかりにくい。	既に作成しているため池ハザードマップと統一しております。完成後に配布させていただくため池ハザードマップは発色の良い紙でフルカラー印刷を行いますので、今よりも色鮮やかな見た目となり、見やすさは改善されます。
8	自治区の境界を記入しては。	危険区域等をわかりやすく表示することを優先しているため、掲載していません。
9	道路の場所がわかりづらい。	既に作成しているため池ハザードマップと統一しております。完成後に配布させていただくため池ハザードマップは発色の良い紙でフルカラー印刷を行いますので、今よりも色鮮やかな見た目となり、見やすさは改善されます。

10	緊急時は岬町からのLINEを参考にしています。	今後も地域との防災情報の共有に努めてまいります。
11	避難場所の周知を徹底することが大切で、マップでその避難場所に誘導しては。	ため池の決壊は、地震・津波・大雨等の災害と同時に起きる可能性があることから、特定の避難場所の設定はしておりません。 ハザードマップ内に避難所は表示しておりますが、日頃より、災害時に安全な場所や避難ルートを検討するための資料としてご活用ください。
12	災害に対する訓練を実施しては。	町内各地域において特に訓練の必要性が高い災害を想定し、多数の住民の参加による、地域の実情に応じた訓練の実施に努めることが必要と考えます。訓練には本年度改訂の「岬町総合防災マップ」の活用を視野に入れた訓練を検討します。
13	土砂災害警戒区域とはなにか。	土砂災害により、住民に危害が生じるおそれのある区域です。
14	ため池決壊による浸水被害と土砂災害の関連性がわかりにくい。	ため池の決壊は、地震・津波・大雨等の災害と同時に起きる可能性があることから、土砂災害警戒区域をあわせて表示しています。
15	近くの避難所が浸水の可能性が高いので、少し遠くてもいいので、もう少し避難所を追加できないか。	避難所は町内に20箇所あり、淡輪地区内にはこの他の避難所としては、17区集会所、さくら会館などがありますので、津波ハザードマップや町のホームページなどをご確認いただき、災害に備えてご準備下さい。